

地域とJAを結ぶ、心ふれあう情報誌

苗彦

2024
vol. 318

ふれあいだより



JA京都 **にのくに**

<https://ja-kyotoninokuni.or.jp>



ja_kyotoninokuni



公式LINEアカウント
「ふれ愛」



にのくにびと：鎌部 真由美さん

P 2. JA京都にのくに 農産物振興の取り組み・野菜の学校 受講生募集!

P 6. にのくにびと 農福連携プロジェクト「あやべたがやす」

代表 鎌部 真由美さん



JAグループ京都は、京都マラソン2024を応援しています。



管内の農産物



小豆



丹波くり



水稻



紫ずきん

主要農産物



お茶

万願寺甘とう



黒大豆



えびいも

管内で生産される農産物は「**水稻**」をはじめ、地域特産品「**万願寺甘とう**」、由良川流域を中心に栽培される「**お茶**」の3つの主要農産物と、ブランド力を活かして生産拡大を目指している「小豆」・「紫ずきん」・「丹波くり」・「黒大豆」・「えびいも」。併せて皆さまの家庭を彩る、さまざまな野菜や花卉も栽培し、農産物直売所「彩菜館」を通じてお届けしています。

「野菜の学校」の取り組み

地域農業を支える農業者の育成に向けて「野菜の学校」を開講しています。講座では地域の独自性を活かした品目を中心に8カ月間にわたり講義と実習を行い、新たな生産者の育成に取り組んでいます。

SDGsの目標(ゴール)達成に向けた食の安全・安心への取り組み

JAグループ京都と歩調を合わせ、SDGsの目標(ゴール)達成に向け、生産者同士のメンバーシップによる地産地消運動の充実や、環境に配慮した農畜産物生産の実現を目指します。また、特産物は栽培管理や防除の基本となる指針に基づき、農薬適正使用の徹底や栽培管理履歴簿などによる点検・検証を行うことで、食の安全・安心に向けた取り組みを推進します。

野菜の学校 受講生募集!

JA京都にのくには、地域農業を支える農業者の育成に向けて、当JAの特産物を中心に講義・実習を行う「野菜の学校」の受講生を募集しています。この機会にぜひお申し込みください。

実施期間：2024年**4月～12月**（月2回程度）

内 容：野菜作りの基礎講座及び圃場実習

会 場：全農京都北部物流センター及び近隣圃場（綾部市井倉新町）

募集人員：25名程度（応募者多数の場合は抽選となります）

募集資格：75歳以下の組合員（または組合員になっていただける方）

ご自身で会場までお越しいただける方

年会費：10,000円（別途教材費が必要となります）

募集締切：2024年3月1日（金）

※3月7日(木)午後2時から受講内容等の入学説明会を行います。入学申込書は入学説明会にてお渡します。
※受講人数によっては、開催を見合わせていただく場合がございます。

お申し込み・お問い合わせ先 JA 京都にのくに営農経済部（綾部市宮代町前田 20） TEL：0773-42-1814

J A 京都にのくに 農産物振興の取り組み

～食がつなぐ地域の農と社会～

管内農業の現状

当 J A 管内においても、近隣地域と同様に農業従事者の高齢化と減少、離農や生産規模縮小、獣害による不耕作地が増加しています。さらに地球温暖化により、農産物収穫量の減少や品質への影響が表面化し、特に昨年は観測史上最も暑い夏だったことから、その影響は顕著になるなど、農業生産を取り巻く環境は厳しさを増しています。

そのような中でも万願寺甘とうの生産者を中心とした新規就農者の増加や、地場農産物を地域の皆さまにお届けしている農産物直売所「彩菜館」の販売高が着実に伸びているなど明るい兆しも見えています。

農産物直売所「彩菜館」

彩菜館は、生産者と消費者が集う「にぎわいの場」や、食農教育・地産地消運動の場として運営しています。これからも「食がつなぐ地域の農と社会」の拠点として、地域の農産物・加工品をお届けして参ります。



1 特色あるイベントの開催

彩菜館4店舗でそれぞれ特色あるイベントを開催するとともに、お盆や年末の売り出しや、彩菜館合同感謝祭など4店舗合同で開催するイベントを開催し、生産者と消費者が集い、ふれあうことを通じて「にぎわいの場」づくりに取り組んでいます。



2 農ふれあい教室の開催

生産者と消費者との交流を深める場として、子ども向け食農イベント「農ふれあい教室」を開催しています。昨年度は、お茶の収穫・試飲体験や農作物の収穫体験、しめ縄づくりなど多くの親子にご参加いただきました。



能登半島地震により被害を受けられました皆さまに 心からお見舞い申し上げます

石川県能登地方を震源とする大規模な地震により、お亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災されました皆さまに心からお見舞い申し上げます。

また、被災者の救済と被災地の復興支援のためにご尽力されている方々に深く敬意を表します。

被災地では多くの方が不自由な生活を強いられ、刻々と変わる状況に不安な日々を過ごされていることに胸を締めつけられる思いです。

被災地の皆さまの一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

このたびの大雪で被災された組合員・生産者の皆さまに 心からお見舞い申し上げ、一日も早い復旧をお祈りいたします。

1月24日からの積雪により農業用ハウスの倒壊や、家屋の屋根に降り積もった雪による樋の歪みや脱落、カーポートや物干し場等の屋根の被害が報告されています。

積雪による農地・圃場^ほの被害でご相談されたい方は最寄りの広域営農経済センター、建物更生共済にご加入の建物で被害を受けられた方は、最寄りの支店までお問い合わせください。



訪問日ならびに 購買ご請求額決済日（口座振替日）変更のご案内

平素は当JAをご利用いただき、ありがとうございます。

さて、4月より毎月組合員の皆さまのお宅を訪問しております「訪問日活動」及び、訪問日などでお配りしています「購買ご請求明細書」の決済日（口座振替日）を下記の通り変更させていただきます。

訪問日

毎月8日から
16日までの営業日

購買ご請求額決済日（口座振替日）

毎月20日（再決済日27日）
3月ご利用分（4月ご請求分）より適用いたします。

※従来通り、決済日が土日祝日の場合は、その翌営業日が決済日となります
皆さまにはご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

たくさんのご応募
 ありがとうございます。
 ございました。

■ 「ごはん・お米とわたし」図画コンクール・JA共済京都府書道コンクール

「ごはん・お米とわたし」図画コンクール

昨年11月25日、京都市内で開催されました京都府農林水産フェスティバルにて、第48回「ごはん・お米とわたし」図画コンクール表彰式が開催され、管内からは京都府知事賞を受賞された舞鶴市立中筋小学校の森悠翔さんが招待され表彰を受けていただきました。



JA共済京都府書道コンクール

昨年12月23日、京都市内で「JA共済京都府小・中学生書道・交通安全ポスターコンクール表彰式」が開催され、書道コンクール半紙の部で京都府知事賞を受賞された舞鶴市立中筋小学校の川角星愛さんが招待され表彰を受けていただきました。



■ 女性部はなみずきグループ
 フレームとリースづくり

女性部はなみずきグループは1月9日、フレームとリースづくりを行いました。フレームづくりでは着なくなった着物や使わなくなったスカーフを切り、額縁の中にきれいに飾り付けました。リースづくりでは、ドライフラワーや松ぼっくり、木の実などを飾り付けて冬らしい作品が完成。どちらも鮮やかな色合いで、「部屋に飾ると一気に華やきそうだ」と話されていました。



リメイクして素敵な作品ができました

■ 女性部大江支部
 ボッチャに挑戦

1月18日、女性部大江支部健康教室では、大江地域公民館の真下真寿美さんを講師に、パラリンピックの正式競技でもある「ボッチャ」に挑戦しました。

「ボッチャ」は障がいのある人のために考案されたスポーツですが、最近では障がいの有無に関わらず、老若男女誰でも楽しむことができるスポーツとして注目が集まっています。参加者は、投げたボールの行方に一喜一憂しながら楽しめました。



狙いを定めて。エイッ!

■ JA京都にのくにサッカー教室
 Jリーグコーチに教わる

1月21日、京都パープルサンガフットサルコートにて、JA京都にのくにサッカー教室を開催しました。教室には昨年7月に開催した少年サッカー大会の優勝チーム・準優勝チームが参加。京都パープルサンガサッカースクールのコーチから指導を受けました。



うれしそうなお子様たち

■ 女性部西八田支部
 地域の味を伝える

1月15日、女性部西八田支部の皆さんは「こんにやくづくり」を行いました。手慣れた方に教えてもらいながら芋をゆがいた後ミキサーにかけ、凝固剤を混ぜて練りこみました。練りこみ作業は力仕事のため交代しながら練りこんだ後、形成しゆがきました。部員の皆さんは会話をはずませながら、作業を進め、唐辛子、ゆずなどを加えたこんにやくもつくり、それぞれの家庭で手づくりの味を楽しみました。



おいしいこんにやくになあ〜れ

農福連携プロジェクト「あやべたがやす」

代表 鎌部 真由美さん

目指すは生きる力を育てる農場

「農福連携」は人手が不足している農家と働く場を求める障がいのある方をマッチングする取り組みです。現在では、「農」と「福」の対象を拡張した新しい試みに挑戦する方もいます。長年、福祉の現場で経験を培ってきた鎌部真由美さんもそのひとり。家族と経営する綾部市の東部、中上林地区の圃場^ほで実践を始めています。福祉のリアルを知っている鎌部さんならではの「農福連携」。その取り組みを伺いました。

福祉から農業の世界へ

鎌部さんは約7haの圃場で、父親の鎌部勉武さん、息子の拓海さんと米や万願寺甘とうなどの農作物を作っている。就農するまでは福祉の現場で働いていた。

「きっかけは発達障がいのある息子です」と鎌部さん。拓海さんの特性を理解するために始めた勉強が福祉業界への関心へと広がり、就職につながった。長年勤めた児童相談所では、様々な事情を抱える子どもたちの支援に関わった。そんな中、拓海さんが不登校になってしまっ。ひとり親として、仕事と育児の両立に追われていた鎌部さんをフォローする形で、拓海さんに寄り添ったのは鎌部さんの両親や同じく農家である親戚だった。「息子を田んぼや畑へ連れ出してくれました。そこで手伝う息子を見ていたら、福祉療法として、農業、つまり自然の中に身を



置くことがその心身に良い変化をもたらすと思うようになりました」。鎌部さんの中で福祉と農業が繋がった瞬間だ。福祉業界で得た経験を農業の場で生かしたい、行動するのに多くの時間を必要としなかった。

社会の入り口としての農業、 「あやべたがやす」的農福連携

「農福連携」は、農家と就労支援型の福祉事業所が委託契約を結び、障がいのある方に仕事を分配する取り組みが主だ。しかしこの枠に当てはまらない人もいる。社会に適合できず生きづらさを抱えている人やひきこもり状態にある人、仕事にブランク期間がある子育て世代の方やコロナ禍によるストレス、生き方を改めて考える方などさまざまだ。福祉の現場でこのような人とも向き合ってきた鎌部さんは、社会生活の入り口として「農業」を提供したいと考えた。鎌部さんの「農福連携」とは、潜在的な労働力を持つ人たちの、生きる力育成プログラムなのだ。

「まずはここに通うことからスタートします。家から外に出る理由付けが必要だからです」。通い慣れた後は興味を持った作業から携わってもらおう。自分の適性を発見するために特に作業の指定もしない。そして徐々に社会性が身に付くよう働きかける。これを繰り返す。シンプルながら根気と時間が必要

な流れだ。どちらかといえば職業訓練所に感覚が近いと鎌部さんは話す。

現在、農閑期の継続した支援実現のためにワークショップの提案も始め、すでに取引先の農場で働く利用者もいる。「さらに発展させ、ここで働くリズムを身に付けた利用者の受け入れ先の幅を広げられたい。そのためにも多くの人に農業と福祉にとどまらず、地域の労働力は地域の活力のベースになるという視点で見たいだけだったら、『農業が持つ福祉の可能性』がもっと広がるのでは。まだまだ模索中ですが、活動の輪を広げるためにも賛同いただける方や農家の方、通ってみたい方を募っています」と鎌部さんは熱く語ってくれた。



農業をすると体力が付き、体調が良くなる。次第に心も整う。加えて農作物を育てる達成感…。様々な要因が重なって落ち着いた状態で作業できるようになる。



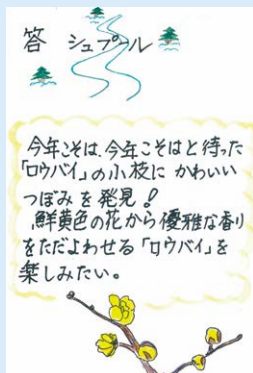
トラクターを運転するのは息子の拓海さん。知的レベルでは難しいとされていたが興味の後押しで操縦できるようになった。公道に出なければ運転できる農耕作業車ならではの経験だ。

「あやべたがやす」の活動に関するお問い合わせ

〒623-1123 綾部市五津合町ヨリの下4
TEL 090-3280-5375 E-mail ayabetagayasu@gmail.com



綾部市 大槻郁代さん



綾部市 塩尻みどりさん



舞鶴市 田端みつ子さん



舞鶴市 速水賢治さん



舞鶴市 ベンネームぶんさん



福知山市 田中美千子さん

Art Gallery

伝言板

新年早々からの能登半島地震、被害に遭われた方には、心からお見舞い申し上げます。私たちも口頃から近隣の方との交流を深め、助け合うことが大切だと痛切に感じました。

綾部市 大鳥清子さん

新春座談会、「それぞれの立場から探る」大変興味深く読ませていただきました。食をつなぐ人たちの大変さを痛感し、改めて食卓にある食材に、感謝、感謝です。日々汗と努力を惜しまず、奮闘してくださる農家さんに最敬礼！

福知山市 塩見吹枝さん

J Aさんから「ジャガイモ」の種が届いた。はやく！3月になったら植えよう！ポテトサラダ、カレー、コロッケ、フライドポテト、ゆでてバターで！たのしみです。大きく大きく育ててほしいです！

綾部市 朝倉康子さん

私の祖母が亡くなりその後「白菜」を作ってみたが、私の孫に「小さう」と言われましたが、この冬は近所の仲良し奥さんの手ほどきで大きなのができ、私の孫に「わっ！パパちゃんすごい」と誉められました。ヤッター！

舞鶴市 林絹子さん

商品券で、「丹の国穂まれ」を購入。お酒好きの我が家なので、嬉しかったです。美味しくって、あつという間になくなりしました。友達と友達のご主人にも送りました。「へえ、綾部でこんな美味しいお酒が造られているんだ」と喜んでくれました。ありがとうございました。

福知山市 夜久恵子さん

今月の一枚



「野菜の学校」卒業式での一枚。約9カ月にわたり実習や講座を受講された皆さんが昨年12月、卒業式を迎えられました。受講された内容を基に充実した営農ライフを楽しんでください。

お子様募集!!

にこにこSmileShotに掲載する地域の元気なお子さんを募集しています。掲載させていただいた方には、掲載写真をパネルにしてお送りします。

対象：0歳から6歳までの管内在住のお子様（小学校入学未満）

応募方法：件名に「Smile Shot 応募」と明記し、下記メールアドレスまで必要事項をご記入の上、写真を添付してお申し込みください。
(ninokuni@ja-kyotoninokuni.or.jp)

必要事項：氏名・ご住所・電話番号・お子様との続柄・お子様の名前・お子様の年齢・お子様へのコメント

農業に関する
様々な質問に
お答えします

営農経済部の 野菜づくり教室

タマネギの防除 および保管

今回はタマネギの防除方法についてご紹介いたします。また、タマネギの保存方法についての質問がありましたので、併せてお答えします。

【べと病の防除】

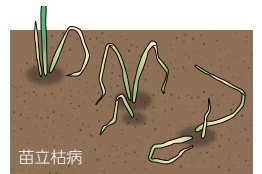
べと病は、カビの一種で、健康的な株と比べて草丈が低く、葉が湾曲しており、葉の色が黄色っぽくなります。湿度95～100%、気温10～20℃で発生しやすく、特に気温が15℃くらいのあたかいたとき、降雨によって土中に入った菌が葉に跳ね返ることにより発生する可能性があります。近年地球温暖化が進んでいるので、発病のリスクは高まっています。発病が見られた苗床や圃場で連作すると発病が拡大しますので、苗床ではあとで述べる苗立枯病防除を行い、併せて圃場の土壌消毒を確実にし、無病地で育苗しましょう。

べと病の越冬罹病株は、気温15℃くらいの時期に2次感染が始まるので、遅くとも2月下旬か3月上旬までに抜き取って焼却するか、土中深くに埋没します。発病した場合は早いうちに圃場に薬剤散布を行い、蔓延を抑えます。



【べと病の防除例】

農薬	倍率と1aあたりの散布量	備考
アミスター20フロアブル	2000倍で10～30ℓ	予防・治療
リドミルゴールドMZ	500～1000倍で10～30ℓ	予防・治療
ダコニール1000	1000倍で10～30ℓ	予防のみ



【苗立枯病の防除】

苗立枯病もカビが原因の病気で、高温多湿の時に多く発生します。播種床に切りわらを被覆すると、土中の湿度が上昇し、菌が切りわらで腐生増殖することで発病が増えます。播種床の防除にオーソサイド水和剤80を使う場合は、600倍に薄めたものを1aあたり10～30ℓ散布します。

【2月～収穫までの管理】

「追肥(2回目)」とう立ちを防ぐために、2月中旬に2回目の追肥をします。野菜の達人を使う場合は、1aあたり3kg散布します。
「除草」手で除草を頻繁に行います。タマネギの生育が旺盛になる時期以降は大きな草だけ除草します。
「べと病防除」べと病が最も恐ろしい病気なため、特に注意が必要です。防除方法は上記の「べと病の防除」の通りです。

「追肥(3回目)」3月中旬に3回

目の追肥をします。この時期の追肥は止め肥としての役割もあり、春以降の生育を促進するために行います。特に貯蔵するタマネギでは、4月以降に追肥をすると腐敗を増加させる恐れがあるため絶対にしてはいけません。野菜の達人を使う場合は、2回目の追肥と同じく1aあたり3kg散布します。

「灌水」タマネギは乾燥に弱い野菜ですので、栽培期間中の乾燥が続く5月ごろは特に灌水に注意をしましょう。マルチ栽培では、乾燥すると肥大が悪くなるので注意が必要です。
「収穫」6月ごろに収穫をします。タマネギが倒伏すると成熟した目安になりますが、倒伏した後も玉が肥大するため1週間から10日はそのままにします。

【長期貯蔵】

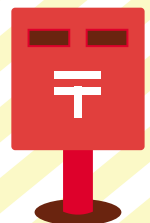
タマネギの長期的保存中に芽が出てくるというのは、避けられない現象です。タマネギは暑さが苦手な作物のため、初夏に休眠準備として休眠後に芽が出せるように玉の部分に養分と水分を溜め、暑さが収まってくると自然に芽が出てきます。そのため、長期的に保存する場合に芽が出てくるためには、できるだけ暑さを避け涼しくて風通しの良い場所での保存するのがいいでしょう。また、タマネギを吊るすときには、圃場で乾燥したものを葉をつけたまま5球ずつ結束し、2束ずつ結わえて貯蔵します。

野菜に関する
疑問・質問
大募集!!

野菜づくり教室は、農業に関する様々な質問にお答えするコーナーとなりますので、ハガキやEメールでどしどしお寄せください。

皆さまからのお声をお待ちしております。

〒623-0053 京都府綾部市宮代町前田 20 番地
JA京都にのくに 営農経済部 野菜づくり教室 係
einoukikaku@ja-kyotoninokuni.or.jp



女性部

joseibu-dayori

だより



12/15

JA京都府女性部・家の光活動体験発表大会

奥上林支部 岩上文子さん 全国大会へ出場



JA京都府女性部・家の光活動体験発表大会が開催され、家の光記事活用の部で岩上文子さんが優秀賞に選ばれました。岩上さんは、2月に横浜で行われる「全国家の光大会・都道府県代表体験発表大会」で京都府代表として発表されます。



「家の光」に出会って50年 ～田舎暮らしに彩りを～と題した活動体験発表をする岩上さん



京都米がすすむおかずレシピコンテスト

「フレッシュミズグループ」 優秀賞・ 「プラチナ2期会」 女性協会長特別賞を受賞

JA京都府女性組織協議会が主催する「第4回京都米がすすむおかずレシピコンテスト」が開催され、府内の女性部員71点の応募の中から、当女性部が考案されたレシピが優秀賞と女性協会長特別賞に輝きました。



優秀賞 「万願寺でソーセージ」



女性協会長特別賞 「納豆と肉との炒め物」

12/20

女性大学・麴料理



女性大学では、フレッシュミズグループの小佐々敬子さんに教わりながら、麴を使った料理講座を行いました。参加者は麴の栄養と健康効果、使い方なども併せて学びました。



白菜のシーチキン
くたくた煮

塩麴の油淋鶏と
甘酒の卵焼き

けんちん汁

甘酒とフルーツの
ミルク寒天

人生100年時代を
いつまでも元気で
健康に生きていたい

そんな願いの
実現を後押しします!



定価(税込) ●普通月号 629円 ●付録月号(1・4・5・7・9月号) 922円 ●家計簿付き12月号 1,027円

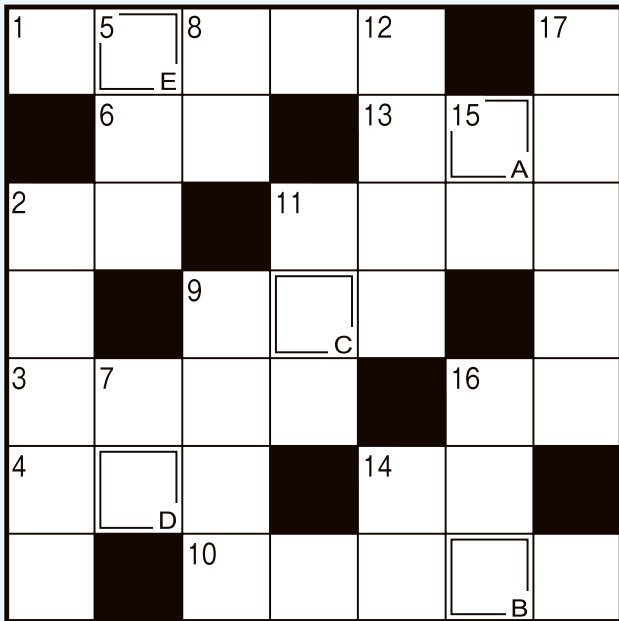
お申し込みはお近くのJAへ

JAグループ 家の光協会 〒162-8448 東京都新宿区市谷船河原町11 TEL. 03 - 3266 - 9039 <http://www.ienohikari.net>

クロスワードパズル



締め切りは **2月21日(水)**
【当日消印有効】発表は3月号



解き方

タテ・ヨコを全部解き、A→Eの二重ワクの文字を順に並べてできた言葉が答えです。



タテのカギ

- ② 歌のうまさを競うイベント
- ⑤ 釣りで使う擬餌針のこと
- ⑦ 舌で感じ取るもの
- ⑧ 日本一高いものは3776mあります
- ⑨ 「峠の——」は群馬県・JR横川駅の名物駅弁です
- ⑩ 人や車が行き来する道のこと
- ⑫ このような役を演じられるとは役者——に尽きます
- ⑭ ものを記憶する器官
- ⑮ ホルスタイン、ジャージーといえは
- ⑯ 寄せ書きに使ったりサインをもらったり
- ⑰ ホワイトデーに贈ることもある、ふわふわと軟らかいお菓子

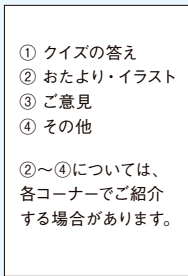
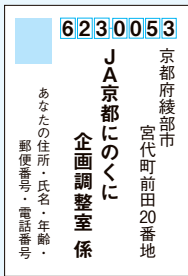
ヨコのカギ

- ① 3月下旬から4月上旬までの学校の休暇
- ② イエスの反対語
- ③ 俳句や和歌で規定より音数が多いもののこと
- ④ いいかげんなことはしません
- ⑥ 海に潜って貝などを採ります
- ⑨ どこからか梅の花の——が漂ってきた
- ⑩ 卒業生が校長から卒業——を授与された
- ⑪ 捕手とバッテリーを組みます
- ⑬ 原稿——、投票——
- ⑭ 雨宿りのときに借ります
- ⑯ 姫路や彦根、松本のものが有名

おたより募集

郵便はがきまたは、Eメールにクイズの答えを下記要領でご記入の上、ご応募ください。正解者の中から抽選で、10名様にのくに商品券(1,000円)をプレゼントいたします。また、「伝言板」と「アートギャラリー」に掲載分ものくに商品券(500円)をプレゼントさせていただきます。

メールアドレス / ninokuni@ja-kyotoninokuni.or.jp
Eメールで応募の際は**件名に「クロスワード応募」とご記入ください。**



- ① クイズの答え
 - ② おたより・イラスト
 - ③ ご意見
 - ④ その他
- ②～④については、各コーナーでご紹介する場合があります。



※お寄せいただいたハガキ・Eメールの個人情報につきましては、各コーナーの目的以外には使用しません。
※氏名の掲載を希望されない方は名前の横にペンネームをお書きください。



※クロスワードパズル
当選者の発表は
賞品の発送をもって
代えさせて
いただきます。

ふれあいスタッフ

福知山支店

今西 正次郎



いつでもご相談ください

福知山支店でライフアドバイザーを担当しています。JAに入組してから営農経済担当や信用担当など幅広い業務を担当する中で得た知識と経験が私の強みです。どんなことでもご相談ください。

▶▶▶▶▶ 12月末 事業取扱高 ◀◀◀◀◀

● 組合員数 20,096人	● 貯金残高 1,663億 372万円	● 長期共済保有高 4,395億2,917万円
	● 貸出金残高 399億4,496万円	● 購買品供給高 8億6,974万円
	● 長期共済新契約高 138億8,925万円	● 販売品取扱高 15億2,424万円

理事会報告

協議事項

- ① コンプライアンス・マニュアルの一部改定
- ② 利益相反取引

報告事項

- ① 月例報告
- ② 2023年11月末事業実績の概況
- ③ 第8次3か年計画の進捗状況
- ④ 2023年産万願寺甘とうの出荷販売概要

- ⑤ 京のプレミアム米コンテストの結果
- ⑥ 第22回生産振興大会の開催
- ⑦ ATMの再編状況
- ⑧ 共済金の支払い状況
- ⑨ 2023年度 JA 共済コンプライアンス点検結果
- ⑩ 余裕金の運用状況
- ⑪ 金融円滑化の対応状況
- ⑫ 支店活動活性化懇談会の開催結果

ATM(現金自動預け払い機)の廃止と移設について(ご報告)

廃止する ATM コーナー	ご利用停止日
朝来 ATM (舞鶴市字朝来 372-1)	2024年2月29日(木) 15:00
大浦 ATM ※旧舞鶴東支店 ATM (舞鶴市平 1106)	2024年3月 1日(金) 15:00

彩菜館東舞鶴店 ATM コーナー 移設のお知らせ

この度、彩菜館東舞鶴店 ATM コーナーの ATM 機器を 2024年2月15日(木)より同施設内の旧グリーンハンズ東舞鶴店跡に移設し、お通帳の繰り越しや硬貨の取り扱いなど機能を拡大いたします。

現在地での営業は、2024年2月13日16:30をもって終了いたします。また、2月14日は機器の撤去・設置の作業の為、彩菜館東舞鶴店は臨時休業とさせていただきます。ご利用いただいております皆さまには大変ご不便をおかけいたしますが、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

■移設場所での営業時間について 毎日 8:00~21:00 (営業時間を拡大いたします)

あとがき

「1月は往ぬる、2月は逃げる、3月は去る」とよく言われますが、本当にこの時期あつという間に過ぎていく感じがします。この前お正月だったのに、もう2月も半ば。寒さもいよいよ後半戦となりますが、実は少しずつ1日は長くなってきていることをお感じですか？春は少しずつですが近づいています。そして皆さんにとって良き春が来ることを願っています。 〈ヒロ〉



おたよりをお待ちしています!

夢彦ふれあいだよりでは、読者の皆さまの声を多くご紹介したいと考えています。身近なエピソードや地域の話、イラストや写真など、どしどしお寄せください。本誌に採用させていただいた方には農産物直売所「彩菜館」などご利用できる「のくに商品券」をプレゼントします。

〒623-0053 綾部市宮代町前田20
JA京都のくに 企画調整室

Eメールでもどうぞ
ninokuni@ja-kyotoninokuni.or.jp

※作品・写真は返却できません。おたよりは誌面に掲載する場合があります。
※作品・写真はInstagramで紹介させていただく場合があります。
※応募で記載された個人情報は「掲示板」への掲載、プレゼントの発送以外には利用いたしません。



日頃のご愛顧に感謝して 彩菜館合同大感謝祭

日頃のご愛顧に感謝を込めて、各店舗で大感謝祭を開催します。ぜひお立ち寄りください。

開催日時

綾部店
2024年
2月23日(金/祝)
午前9時～

西舞鶴店
2024年
2月23日(金/祝)
午前9時～

福知山店
2024年
3月2日(土)
午前9時～

東舞鶴店
2024年
3月2日(土)
午前9時～

1,000円以上

お買い上げの方に

丹の国穂まれ

2合を先着順で
プレゼント。

4店舗合計
500袋



「丹の国米」
10kgの特売

通常価格4,370円が
4,170円(税込)



地元産
コシヒカリ
100%



ご好評につき
第2弾

JA京都にのくに 限定企画

キャンペーン
期間

2024年

1月4日(木) ▶ 2月29日(木)

JA共済

備えて・もらえる キャンペーン

キャンペーン期間中、
対象共済を新規でご成約
いただいた 合計100名様
に抽選で右記の賞品の中から
1点プレゼント!!

【対象共済】

一時払終身共済 (¥28,10)

生存給付特則付

一時払終身共済 (¥28,10)

一時払介護共済

建物更生活共済

むてきプラス 1倍



ビール&ジュース
詰め合わせ
25名様



特別栽培米
(丹の国穂まれ 5kg)
50名様



アリエール
フレッシュラインセット
25名様

※プレゼントへのご応募は、対象共済保障金額一口100万円からとなります。※プレゼント賞品は数に限りがございますので、変更となる場合があります。※当選発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。※写真はイメージです。※早期で失効・解約された場合、当選が無効となる場合があります。

JA共済は、「ひと・いえ・くるま・農業」の
総合保障で確かな安心をお届けします。

※ご提供いただいた個人情報は、JAおよびJA共済連の事業ならびに各種サービスのご提供・ご案内・充実等の目的以外には利用いたしません。また、JA共済は「個人情報保護方針」を定め、個人情報の保護に努めております。

無料法律相談会開催 (予約制)

組合員の皆さまが日常生活で直面するあらゆる法律の相談にお答えします。

綾部会場

とき：2024年2月28日(木)
13:00～16:00

ところ：JA京都にのくに 本店
(綾部市宮代町前田20)

福知山
会場

とき：2024年3月5日(火)
13:00～16:00

ところ：JA京都福知山支店
(福知山市字篠尾小字長ヶ坪115-12)

※当組合福知山支店ではございませんのでご注意ください。

担当弁護士

弁護士法人 小西総合所属弁護士

2024年2月16日までに企画調整室
(Tel: 0773-42-5566)までご連絡ください。
後日お申込書を送付させていただきます。